

洗い加工の高度化による革新的ジーンズ加工技術の開発

1. 事業の概要

岡山県は、ジーンズ等のセルロース素材を活用した繊維産業が盛んな地域です。繊維製品の多くはカラフルに染められ、多様なデザインで製造販売されています。しかしながら、製品トラブルは染色工程や洗い加工工程でおこりやすく、産業廃棄物の増加要因の一つとなっていました。

工業技術センターでは、環境負荷の低い産業社会の構築を目的として、繊維製品の製造にともなう産業廃棄物の低減と、製品価値を高める加工技術の開発に取り組んでいます。

2. 平成30年度実績

近年、ストレッチジーンズに代表される伸縮性を有するポリウレタンを混紡した繊維製品が多く製造販売されています。ストレッチジーンズの洗い加工では、脱色剤として塩素系酸化剤(次亜塩素酸ナトリウム)を使用していますが、その脱色剤によってポリウレタンが劣化し、ストレッチ糸の伸縮性が失われるトラブルが発生していました。

工業技術センターでは、ラボスケールにて確立した劣化を抑制した洗い加工技術を実機へ適用するための検討を行い、共同研究企業において実用化を達成しました。共同研究企業では、本技術の適用により従来3%程度あった洗い加工トラブルをゼロ(H30実績)とすることができました。



開発した洗い加工条件にて脱色したデニム

担当部署

工業技術センター